

デフアスリートによる講話と競技体験



実施
学校名 **品川区立宮前小学校**

日時 **令和6年6月6日（木）**

場所 **体育館**

プログラム概要

- ・現役のデフアスリートである坂田翔悟選手（2022年夏季デフリンピック大会出場）と長内智選手（2017年夏季デフリンピック大会出場）を講師に迎え、デフ陸上競技についての講話とスタート体験、児童との質疑応答を行いました。
- ・聴覚障害のあるアスリートから、これまでの苦労や努力してきた話を聞くことで障害に対する考え方や理解を深めることができました。また、光で合図をするスタートランプ等の競技器具に触れることでデフスポーツに興味・関心をもつことができました。

体験風景

1 講師紹介



児童たちは、来年、東京で開催される夏季デフリンピック競技大会への出場を目標に頑張っている等のお話を、大きく相づちを打ちながら聴いていました。お話が終わると、多くの児童が手話の拍手を送っていました。

2 競技紹介



聴覚障害のある選手のための、スタートランプを使用したデフ陸上のスタートを教わりました。
赤 = 「位置について」、黄 = 「よいい」、青 = 「どん」というランプの色の変化（合図）によりスタートすることを学びました。

3 スタート実技体験



坂田選手、長内選手と一緒にスタートランプによるスタートを体験しました。赤ランプの点灯前にスタートの体勢に入ってしまうなど、慣れない手順に戸惑う姿も見られましたが、日本代表選手との貴重な体験を楽しんでいました。

4 質疑応答・記念撮影



「陸上をやっていて楽しかったこと」「聴覚障害のために困ったこと」等、児童からの様々な質問がありました。児童は、デフリンピックの素晴らしさ等について学びました。最後は、お二人に教えていただいた「I Love Youポーズ」で記念撮影を行いました。

参加した児童の声・反応

- ・デフリンピックについて知ることができました。親に話をしたいし、知らない人にも教えたいです。坂田選手、長内選手が日本代表になれたらいいなと思いました。
- ・耳が聞こえない選手のためのスタートランプなど、いろいろと工夫がされていてすごいなと思いました。これから、デフリンピックを応援したいし、もっと広めていきたいなと思いました。
- ・「障害もその人の個性」という言葉に、障害のある人に対する感覚が変わりました。来年のデフリンピックを見たいです。